

館報



6月号

# やまがた

No. 794

令和4年  
(2022年)



※表紙の写真は撮影のためマスクを外してもらっています。

## 村のお巡りさん

うえはら まさゆき  
上原 昌幸さん (下大池)

今年3月下旬から山形村警察官駐在所に配属された上原さん。県内の複数の駐在所での勤務を経験されたベテランです。上原さんから見た山形村は「生活されている皆さんが生き活きとされている」という印象とのことでした。抱負をお聞きすると「村民の皆さんの安心と安全を守り、期待に応えられるよう、頑張ります」と語ってくれました。

(6月4日 山形小学校入口交差点にて)

働  
姿

### 消防団活動

#### 下大池分団

5月29日(日)、松本広域消防局山形消防署から講師を招きホース・ポンプの使い方を再確認し、有事の際に全団員が消火活動できるように訓練を行いました。また、全国的にルール改正となったポンプ操法大会の変更点の説明も確認し、この日の気温の暑さに負けないほどの熱い想いが訓練から伝わってきました。



消防署員から説明を受ける団員

#### 下竹田分団

6月5日(日)、下竹田地区内4つの連絡班において、消火栓取り扱い訓練が行われました。下竹田では例年6月・9月の環境整備に合わせて、地域の方を対象とした消火栓取り扱い訓練と備品点検(ホースの劣化交換)を行っています。動作方法の確認と放水の

実施を真剣に学んでいました。



消火栓の取り扱いを学ぶ

#### 中大池分団

5月23日(月)と28日(土)・6月13日(月)の3日間に分け『小型ポンプ操法』を基にした放水訓練が行われました。

ポンプやホースなどの取り扱いはもちろん、規律も改めて確認し、有事の時の対応が躊躇なくスムーズに行えるようにと分団幹部より指導を受けていました。



放水訓練の様子

消防団の皆さん、本業の傍ら本当にありがとうございます。これからも村の安心・安全のためによりしく願っています。

### 山形村みどりと環境を守る会 すこしだけSDGs



5月21日(土) 役場近くの畑にて、野菜の植え付け体験が行われました。先月から始まったこの企画ですが、今月はトウモロコシの種まきと、草取りを行いました。参加した子どもたちは真剣な表情で作業を行いました。先月まいたニンジンとジャガイモも芽が出てきていて、収穫の時期を迎えるのが楽しみです。



### 環境整備

6月5日(日)、村内各所で春の環境整備が行われました。地区ごとに、カーブミラーの清掃、草刈り、側溝の清掃など、快適に暮らせる環境になるよう、作業を行いました。住民の皆さんのご協力により、きれいな村内になりました。



### 中大池分館 マレットゴルフ大会

5月22日(日)、ならう原公園マレットゴルフ場で、中大池分館体育部主催のマレットゴルフ大会が行われました。

コロナ禍でも区民が交流する機会を何か作れないかとの思いで企画した大会に、約30人が参加しました。当日は天候にも恵まれ、和気あいあい



ホールインワンを狙っています

とした雰囲気の中、1年振り以上となる分館行事を楽しみ姿が見られました。

### 山すそ

人体の約16%を占める最大級の臓器は皮膚である▼人間の皮膚は多機能なのだが、身近なため人体に与える影響を軽視しがちである。例えば皮膚が張ると筋肉も動かさずなるため、肩凝りなど人体に多くの不調をきたしてしまう。特に同じ姿勢を維持しがちな人は注意だ▼解消方法は筋肉同様にストレッチが有効だが、忙しい毎日

で時間が取れない場合は筆者も実践中の『ながらストレッチ』をおすすめしたい▼首をゆっくり回す。肩を前後・左右・上下に動かし、回してみる。腰をゆっくりひねる。腕を縦軸にひねる。全身クネクネとしてみるなど、体が心地よく感じることを第一に皮膚を伸縮させる動作であれば何でも良い。これをトイレに立つ時、お風呂の中など生活に浸透させていくと皮膚も筋肉もリラックスできる。ただし、頭皮と顔は全身ストレッチとの連動が薄いためお風呂で優しく指圧してあげよう▼コラーゲンを含む食品(鳥皮など)も摂取して、皮膚の健康維持に目を向けてみるのもいいかもしれない。

図書館からのお知らせ

\*夏休み自由研究のヒントに
「料理はサイエンスにあふれている
台所の科学実験」参加者募集

日時：7月16日(土)
午前9時30分～午前11時30分
場所：トレーニングセンター
調理室 食堂
定員：小学生以上15人(定員になり次第締め切り)
申し込み・問い合わせ
山形村図書館 ☎0263-98-3155

\*「市町村と県による協同電子図書館」がスタート

8月から電子書籍を借りられるようになります。
登録の仕方、借り方など詳細は後日、図書館カウンター、図書館ホームページでご案内します。
楽しみにお待ちしております。

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館で

BOOK No.58
編集＝山形村図書館

リサイクル工作
絵本の表紙がバッグに变身!

4月23日(土)、『子ども読書の日』企画として、リサイクル工作に取り組みました。

まずは、絵本の表紙をリサイクルしたバッグ作り。
図書館の絵本は、中身と表紙が同じものはずしてあります。が、この表紙が厚手のしつかりした紙なので、捨てるのは忍びない。そこで紙バッグに仕立ててみました。
参加した14人がそれぞれ好きな表紙を選び、定規で印をつけハサミ



でカット。両面テープを貼るのに悪戦苦闘しましたが、完成しました。参加者からは満足のいく仕上がりに「おもちゃ入れにする!」と張り切った声も聞かれました。
おまけのシール帳も作成。こちらは本にかけるブックカバーの裏紙を剥がした紙で、普段はゴミ箱行きです。これをノートにし、表紙に好きなマスキングテープを貼り、シール帳にしました。
どちらも実用品として使える、SDGsな工作でした。
人気!『芦田愛菜さんの本棚』
こどもの読書週間(4月23日)から5月12日(木)まで)に合わせて展示を行いました。
女優の芦田愛菜さんは読書家としても知られます。『まなの本棚』(小学館)で紹介されていた本を一堂に集めてみました。絵本があるかと思えば児童読み物、源氏物語などの古典、夏目漱石ら文豪の作品、外国文学とジャンルは多岐にわたり、大人顔負けのラインナップ。愛菜さんの読書の広がりを感じさせてくれました。
新聞記事を読み、愛菜さんファンかと思われる人が、遠くは白馬村から来館されました。愛菜さん効果で本を手にする人も多く、盛り上がった展示になりました。



図書館×ふるさと歴史展示
『山形村の婦人会と婚礼衣装』展
6月はジュニアブライド。虫干しを兼ねて5月24日(火)から6月12日(日)まで、伝承館の収蔵庫からお借りした花嫁衣裳、鏡台などを展示しました。
この衣装は村の婦人会が購入し、村内の花嫁さんに貸出をしていました。相互扶助の精神を生かし、婚礼にかかる費用負担を軽減しようとした取り組みです。
平成2年を最後に貸出は途絶え、平成4年の婦人会解散を機に、旧伝承館に移され、現在は貸出の記録と共に大切に保管されています。
「きれいだね。しみひとつない」「先進的な取り組みだね。頭が下がる」と足を止め見入る方が大勢いらつしゃいました。
伝承館が取り壊され、文化財を目にする機会がほとんどない状況です。図書館では、今後も旧伝承館の収蔵品を皆さんにお披露目する機会を用意したいと思っております。ご期待ください。



BOOK 58 新着本
おすすめ新着本紹介
『干し野菜百科』
濱田美里(河出書房新社)
太陽の光を浴びて甘みがグンとアップ。うまみもギュッと濃縮。長期保存もできます。いいことだらけの干し野菜、この夏ぜひ挑戦してみましよう。
『大学進学のための返さなくてよい「奨学金ガイド」』
給付型奨学金研究会(産学社)
図書館にはこんな本もあります。コロナ禍で厳しい経済状況でも、夢を叶える道はきつとあります。
『野ばらの村のひみつへのや』
ジル・パークレム(出版ワークス)
イギリスの美しい田園で、心豊かに暮らすねずみたちの物語。全世界で700万部のロングセラーが待望の復刊です。挿絵が魅力的。
『らんらんランドセル』
モリナガ・ヨウ(めくるむ)
ランドセルは、200個ものの部品を組み立ててできています。6年間一緒に通うランドセルの製作工程、興味深いです。



### 山形小学校 PTA作業

5月21日(土)、山形小学校PTA作業が行われました。この日は校内外の普段は手が届かないような箇所を中心に作業が進められ、1・2学年ベランダ前では側溝のコンクリート板を外して泥をかき出し、中庭では久しぶりに池の水を抜いて中を綺麗にして、周辺のタイル破片も片付けたりしました。翌日児童からは「中庭の池が綺麗になってこんなに沢山の魚がいたんだー!」と子どもたちは大喜び!



みんなでがんばるぞー!



側溝の泥上げ「よいつしょ!」



こんなにいっぱい魚がいたんだねー!



水を抜いた中庭の池



5月25日(木)、鑑賞音楽会が行われました。今回は『奥田スインギー“英人&ザ・ブルースカイオーケストラ”をお招きし、本場の“ジャズ・オーケストラ”を鑑賞しました。ジャズとすることで、始まりからノリの良いサウンドに児童たちは魅了されていました。途中サプライズで、吹奏楽部



### 山形小学校 鑑賞音楽会



5月26日(木)、1・2年生対象の声掛け防犯教室が行われました。松本警察署の職員から、命を守る大切なお話をしてもらい児童たちは真剣な表情で聞いていました。また、実際に児童がランドセルを背負って登下校の状況をつくり、不

### 山形小学校 1・2年生 声掛け防犯教室

が特別にステージにあげてもらい、プロの演奏を間近で見せてもらっていました。最後は曲に合わせて全員で自由に踊ったり手拍子をしたりと楽しみながら最高潮の盛り上がりで幕を閉じました。児童たちの楽しそうな顔が印象的でした。

5月27日(金)、4年生がインターネットの危険性や正しい使い方方を松本警察署の職員から教えてもらいました。「インターネットは便利で楽しいけれど間違った使い方をすると犯罪に巻き込まれる危険性があるのです、おうちの方としっかり話し合い、ルールを決めて使うように」と指導されていました。



### 山形小学校 4年生 ネットの使い方教室

審者への対応を覚えてもらいました。これからも、私たち地域の大人たちで児童が安全に登校できる環境作りをしてあげられると良いと思います。



4月中旬から大型鯉のぼりの制作に取り組んできた年長クラスの園児たち。前編では、泳いでいる鯉に触れる『鯉つかみ体験』の様子を紹介しましたが、後編では、完成までの制作風景をお伝えします。

鱗うろこの形や色などについてイメージを話し合った園児たちは、「みんなの好きな色を全部使おう」と鱗は赤、オレンジ、ピンクに目玉は黒や青、黄色と決まりました。2m程の大きな布に鱗の下絵を描き、絵の具で色をつける工程では初めての絵筆に、最初はゆっくりにしたが、いくつもの鱗を交代で塗っていくうちに細かい部分は筆の先を使うなど扱い方に慣れてきたようでした。

園児たち同士で塗り終わるまで順番を待ったり、励ましたり、作業に取り組むこと約1か月、最後は担任の先生が園児たちの前で布を筒状にミシンで縫い合わせ、鯉のぼりが完成しました。全員で力を合わせて制作した鯉のぼりが空高く舞うと、年長さんたちからは「泳いでる!」と嬉しそうな笑顔。小さなクラスの園児たちも『屋根より高い鯉のぼり』と歌を口ずさみ、園庭には楽しい歌声が響き渡りました。



屋根より高い鯉のぼり〜♪になりました!



**山形保育園参観**

6月8日(水)からの3日間、保育参観が行われました。今回は子どもたちが毎日熱中している遊びを見せてもらいました。子どもたちは水や草花を使ってままごとを楽しみ、泥団子を作っておうちの人のプレゼントしたり、登棒ができてるところを自慢したりといつも以上に張り切っていました。

**引き渡し訓練**

山形保育園

5月26日(木)、引き渡し訓練が行われました。今回、地震を想定した避難訓練を保育園で行い、そのあとに保護者へ



『メール連絡網』を使い受信確認後、迎えに行くという想定で行われました。保護者や園児、職員も緊張した面持ちで真剣に取り組んでいました。いつ何時に起こるか分からない災害に備えての良い訓練になったと思います。

山形小学校

5月30日(月)、緊急時児童引き渡し訓練が行われました。この訓練は自然災害や不審者が出た際などの緊急時に児童が安全に帰宅できるように各家庭へ引き取りをお願いする目的で行われました。迎えに来た保護者は真剣な表情で各教室へ向かいました。不測の事態はいつ起こりうるか分からないですが、この訓練を通して緊急時に迅速かつ安全に行動できれば良いと思いました。



やまがた未来塾 開講

5月21日(土)、トレーニンングセンターふるさと大ホールで『やまがた未来塾』初回が行われました。昨年に続き2年目の取り組みで小学4～6年生と中学生を対象に、信州大学の学生などが学習の支援を行います。

午前中は小学生約30人が参加し、それぞれ持ち込んだ教材を学生や学習支援員が分かりやすく教えていました。『安全な学校給食を守る会未来塾部会』による昼食の提供もあり、参加者は楽しく過ごしていました。



集中して机に向かう参加者

Yふるさとレンジャー隊 今年度のテーマは、『川』!!

6月5日(日)、トレーニンングセンターにて令和4年度Yふるさとレンジャー隊の認定式が行われました。今年度は村内を流れる『川』を調査・探訪し、学びの成果を長野美術専門学校の協力のもとパンフレットにまとめ、村内外に発信する予定です。認定式では、昨年度から継続参加のレンジャー隊員や新加入の小学生シニアサポーターに認定証とレンジャーハットが授与されました。

引き続き行われたワークショップは、3班に分かれ山形村の水の流れを白地図にマーカーペンで色付けしていただきました。その中で三間沢川・唐沢川の他にも水路があり、溜池の存在にも気づき、シニアサポーターの助言に今と昔の川、生き物、流れのルート、源流の探索など隊員の興味が湧いてきたことが伝わってきました、学びの多い会でした。

次の集まりでは、『生き物・環境』をテーマに川を探索する予定です。

参加者を随時募集しています。お問い合わせは山形村教育委員会(☎0263・98・3155)まで



3班ともワークショップに熱中!

寒晒しそば 試食会

6月6日(月)、唐沢そば集落・根橋屋で寒晒しそば試食会が行われました。『山形村日本一のそばの里を創る会(以下創る会)』(5名)と公民館講座『おやじ塾(6名)』が、なめらかで甘味・香り・コシのある十割そばを堪能しました。この集いは、おやじ塾、そばプロジェクトにおいてそば打ちを指南

いただいた縁で企画されたものです。今年で2年目となる寒晒しそばは、浸水・引き揚げの時期を昨年より過酷な条件に変更し、玄そばを12月に

村長杯マレットゴルフ大会 参加者募集!

日程 令和4年8月21日(日) 午前8時30分から  
場所 ならう原公園マレットゴルフ場  
受付期間 令和4年6月24日(金) から 8月6日(土) 午後5時まで  
参加費 お一人500円  
主催 山形村マレットゴルフ愛好会  
申込・お問い合わせ

お住まいの地区役員へご連絡ください。

- 上大池 春日 仁さん ☎0263-97-1717
- 中大池 伊藤みどりさん ☎0263-98-2275
- 小坂 倉沢 長久さん ☎0263-98-2559
- 下大池 上条 浩堂さん ☎0263-98-2045
- 上竹田 桐原 淑子さん ☎0263-98-2903
- 下竹田 赤羽 誠さん ☎0263-98-4086

浸水、厳寒の正月20日過ぎに引き揚げて、寒風と天日に晒しながら水分計で確かめて完成させたそうです。その甲斐あって甘味のあるそばに仕上がっているとのことでした。



できあがったそばに舌鼓



おめでた(字・親)

- 戸澤 佳寛(ひとひろ) 正行(ただゆき) 上竹田
- 横川 美月(みづき) 翔大(はると) 上竹田
- 内川 侑(ゆう) 達也(たつや) 下竹田
- 田口 瑚乃(この) 龍太(りゅうた) 下竹田
- 宮澤 明(あきら) 上竹田
- 篠原 満(みちる) 上竹田
- 竹野人 美壽子(みすこ) 83歳 上竹田

おくやみ

# 家庭菜園

手軽に  
たのしく  
おいしく

～野菜作り体験レポート①～



「家庭菜園を手軽にできたらいいな」。そんな思いを山形村地域おこし協力隊OBで野菜作りが大好きな穴澤雅美さん(上大池)に相談してみたら、「じゃあ一緒にやってみよう」と背中を押してもらい、動き出した今回のプロジェクト。編集部員Mの自宅の庭で土を耕し、種をまき、収穫までの様子を観察していきます。そんな中でいくつかのアドバイスがすとんと胸に落ちる瞬間がありました。それは特別な道具や技術は必要なく、自分のライフスタイルで無理のない「自分サイズ」の家庭菜園を見つけるヒントになりましたので、ご紹介します。

**M** 昨年は子どもたちとミニトマトの栽培に挑戦しましたが、わき芽を摘んだり、支柱を立てたりと手入れが大変で、最後は藪のようにわき芽が広がり、摘みきれなかった実が地面に落ちていくのを見てせつなくなりました。比較的、手入れが少なく初心者にも育てやすい野菜はありますか？  
**穴澤** 手軽に育てられるものとして、葉物野菜がおすすです。収穫までに時間がかからず、間引きした小さな葉もサラダに混ぜて食べられますので、お子さんにも種まきから収穫までの様子がわかりやすいと思います。新鮮な柔らかな葉は家庭菜園だからこそ味わえる最高の良さです。今回は実験的いろいろな種類の野菜の種をまいてみたいと思います。環境条件などで上手くいかないものもあるかもしれませんが、まずはやってみましょう！



### 編集部員M

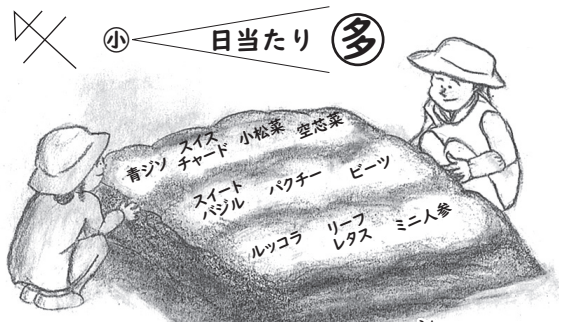
山形村へ移住した野菜作りを始める家庭菜園ビギナー。



### 穴澤 雅美さん(上大池)

村内にて小規模多目的の野菜作りとお菓子の農産物を使った野菜作りを中心に活動中。

**M** うちの子は葉物が苦手ですが、自分で間引きして食卓に並べたら好きになるかも！いろいろな種類の野菜も試してみたいです。始める前に大事なポイントがありますか？  
**穴澤** まずはお庭の中で日当たりの良い場所を選びます。ほとんどの野菜は太陽が大好きで、一日中、直射日光が当たる場所が最良です。日当たりと風通しの良い環境では作物の健康状態も良くなり、アブラムシや病気の予防にもなります。土の水はけも大事です。水はけが悪いと根腐れする原因になりますので、よく耕しておきましょう。畝を高く作るのもおすすめです。  
**M** 日当たりと水はけが重要なのですね。我が家の庭には大きな木があり、午前中は日が当たりますが、午後には一部が日陰になってしまいます。その場合はどうしましょうか？  
**穴澤** そうですね、日陰になる部分がありますね。では今回試してみよう野菜の中で日照が重要なものを優先的に日が長く当たる場所に種をまきましょう。ルッコラやスイートバジル、青ジソなどは比較的日陰にも耐えられると思うので、半日陰側にまいてみます。もう一つ大切なことは、背の高さです。背丈が低い野菜は、背の高さです。背丈が低い野菜(ミニ人参、リーフレタスなど)は日が当たる側の前列にまき、後列に背丈が高い野菜(空芯菜など)をまくことで少しでも全体に日が当たるようにします。  
**M** 日当たりが限られる場合には、



日当たりに応じて正方形の畝にいろいろな種をまきました

日陰に耐えられるかと作物の背の高さでまく場所を考えるのですね。知っておくと種をまくときに便利ですね。  
**穴澤** 今回は、種から育ててみますが、苗を購入して植えるのも手軽ですよ。実は、最初に肥料を与える際も、種と苗では肥料の与え方に注意が必要です。種から育てる場合、発芽したての小さな芽は赤ちゃんのようなので、肥料を与え過ぎてしまうと肥料やけを起こしてしまいます。種から育てる時は最初の肥料を控える方がいいと思います。  
**M** 赤ちゃんに例えると想像しやすいですね。水はどうしたら良いですか？  
**穴澤** 基本的には芽が出るまでは、土が白く乾いていたらシャワーノズルのついたジョウロでやさしく水をあげます。芽が出た後は、地植えの場合ではよほどの日照りでない限り、

種まきから5日後にルッコラが芽を出しているのを発見し、思わず「出たー」と子どもたちと感激しました。その後リーフレタスやミニ人参も発芽し、穴澤さんの言葉のとおり小さな芽の愛らしさに幸せを感じました。野菜作りの場所や手間をかけられる時間をご家庭によって違うと思いますが、今回ご紹介したポイントを押さえることで、気構えずに始めるきっかけになれば嬉しいです。



あげなくても大丈夫です。  
**穴澤** 今回、下準備や種まきを行ってみたいですか？  
**M** 楽しかったです。作業を覚えるというよりも、作物の目線で心地よい環境を作ることが大切だなと感じました。これからも成長を見ながらお世話をしたいです！  
最後に穴澤さんにとっての家庭菜園の魅力を教えてください。  
**穴澤** 私にとってはとにかく「楽しい」ことです。頑張って成長してくれる様子は、見ていて本当にかわいいですし、嬉しくなります。そしてその野菜たちを収穫する時の喜びは格別です！自分で育てたお野菜の野菜の味も格別です！植物はそんなに弱いものではないと感じています。苗1ポットからでも好きな野菜を育ててみてほしいです。そして育てる楽しさや収穫の喜びをぜひ体験してほしいです！

\*今回は紙幅の都合上、細かな作業内容は省略いたしました。ご質問・ご感想は裏面の連絡先までお寄せください。

# 陸上 にかける

## ～仲間とともに走る～ 山形小学校陸上クラブ



中信地区陸上競技大会 小4 100m

今年度、山形小学校陸上クラブ(通称…ヤマリク)には、18名の4年生が新たに加わり、5年生8名と6年生5名とともに、朝を中心に練習を行っています。

5月21日(土)には、松本平広域公園陸上競技場で第16回中信地区小学生陸上競技大会が行われ、各学年の児童たちが競技に参加しました。4年生にとっては今回が初めての大会ということもあり、何人かに感想を尋ねてみました。100メートル走に出場した友森咲翔さん(上竹田)は「100人中、30位以内に入ることが目標だったけど、スタートのピストルの音が思ったより大きくて、びびくりして速く走れなかった」。同じく百瀬朔久さん(小坂)も「スタートダッシュで出遅れて、思うように走れなかった」と悔しい想いを話していました。初めての大会の雰囲気、百瀬楓真さん(下竹田)は「周りの選手をカメだと思えていたのを、スタートラインに立つたら忘れちゃった」。荻上晴大さん(中大池)も「山の校庭は100メートルの直線がないから、最後はちよつとばてちゃった」と慣れない場所での戸惑いがあったようでした。藤原佑成さん(中大池)からは「ドキドキっていうよりもワクワクしました!」と感想が聞かれました。さまざまな想いが残った4年生の児童たちでしたが、大会後は、県大会で1000メートル走に出場する6年生に交じって長距離の練習やハードルの体の使い方にも取り組んでいるそうです。今後の活躍を応援しています!



朝、校庭で練習するヤマリクの部員たち

**マロンちゃん** 4歳(上大池)  
ポメプー  
(ポメラニアン・プードル)



職業: ご主人と遊ぶ  
趣味: 散歩で道行く人に愛嬌を振りまく  
夢: 人間になること

前のご主人(の子ども)がアレルギーを発症してしまったため代わりに育てることになりました。

上大池にやってきて2年。人が大好きで散歩で誰かに出会うと構って欲しくて、つい擦り寄ってしまいます。そして、誰にも巡り会えないとちよつと落ち込みます。

今では「ご主人の足腰の鍛錬だ!」と言わんばかりに散歩をおねだりする毎日。今日も愛嬌を振りまきながらお気に入りの散歩道を突き進むマロンなのでした。



今月のテーマ

我が家の愛しのペット

**ぽん太くん** 4歳【写真上】(小坂)  
**うめこちゃん** 5ヶ月【写真下】



職業: ワンソック【自宅警備】

もともと、黒柴が欲しくて探していたときに出会ったのが赤柴の『ぽん太』。多目的に使おうと建てたサンルームが『ぽん太』に占領され、ワンソック(自宅警備)の拠点となり、まさにワンルーム(犬ルーム)へ。

『ぽん太』と留守番できるようにと迎えたのが黒柴の『うめこ』。2匹で仲良く遊べる日を心待ちにしています。



うめこちゃん

### ～館報やまがたへの情報提供募集中～

身近な情報・感想をお寄せください

入力フォーム 右のQRコードを読み取ってください。

メール 下記アドレスへメール送信してください。

kanpou@vill.yamagata.nagano.jp

電話 ☎0263-98-3155 (山形村公民館)



山形村公民館報『館報やまがた』No.794 6月号 令和4年6月発行  
編集と発行/長野県東筑摩郡山形村公民館 印刷/カシヨ株式会社

館報やまがたのバックナンバーは村のホームページ(こちらのQRコードから)でも見ることができます→

